**太陽系と惑星**

　私たちが住む地球は、太陽系に属しています。太陽系は、銀河系に多数存在する惑星系の一つであり、銀河系の中心から約2万8千光年ほど離れた位置にあると考えられています。太陽系は、8個の惑星と、彗星（すいせい）、小惑星などで構成されており、その中心に太陽が位置しています。

※2006年8月、惑星の定義が決定され、冥王星は惑星から除外されました。

　8個の惑星は、太陽から順に、水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星と並んでおり、地球の内側を回る惑星は「内惑星」、地球の外側を回る惑星は「外惑星」と呼ばれています。

　惑星の中で最も大きな惑星は「木星」であり、直径は地球の約11倍、体積は約1,300倍もあります。ただし、その重さは地球の318倍しかなく、主に水素とヘリウムの気体で構成されています。このため、木星には地面がありません。